

## ガス鉛管補修材「エアリペア」施工説明書



「エア

**警告：安全に作業を行なうために、保護手袋と安全メガネを必ず着用して下さい。**



1. マンホールの中を清掃する等、補修する鉛管周囲の作業環境をできるだけ整えます。
2. 乾燥したウェスで鉛管リーク個所の周囲を清掃・乾燥させ、紙やすり（80番程度）で表面を目荒らしして下さい。
3. アルコールを含んだ布等で表面を丁寧に清掃し、汚れ・水分を完全に除去して下さい。  
注：目荒らし部は必ず清掃して下さい。完全に清掃を行わないと施工後のシール効果が大きく減少します。
4. 補修作業前にガス圧を完全に逃がすか止めて下さい。完全にガス圧を止めることができる場合は、エアリペアシール材で直接補修して下さい。（6.以降をお読み下さい。）

### ※ 注意

ケーブル外皮及びスタンダードクロージャー等、ポリエチレン系の材質部のガス洩れを補修する場合は、清掃後、必ずプライマー（別売）を塗って下さい。

\* エアリペアパテ及びシーラントは上記材質に対して、十分な接着力を有しません。



5. 完全にガス圧排除ができない場合は、短時間シーリング材エアリペーパーパテを先ず使用して完全にガス圧を止めて下さい。

**エアリペーパーパテの使用手順：**

- 1) パテをリーク穴の大きさに合わせて適量切り取り、2分ほど手でこねます。パテが暖かくなり色むらのない灰色に変われば使用できます。  
(\*リーク穴がピンホール程度であれば、パテ約3cmを切り取って下さい。)

- 2) パテをリーク箇所の手ひらで強く押し付け（パテ径3cm、厚み1cmが目安です）パテが硬化するまで4分間ほど押し続けます。 約10分間で硬化します。

6. シーリング材A（黒色）とB（白色）のカップを開け、混ぜ板上にA、Bを適量（割合は1:1）

取出し、色むらのない灰色になるまで約1分間混ぜ合わせて下さい。

**注：**リーク箇所の前処理が完全に終わってからカップは開けて下さい。一度に複数カップを開けないで下さい。



7. 上記エアリペアシール材を、清掃した表面にできるだけ手際良く肉盛りし、シール材の端はテーパ状に成形して下さい。リークポイントを中心にその周囲を半径 4～5cm、厚さ 1cm ほどを目安に肉盛りして下さい。肉盛り部を最後に手で成形して下さい。

注1. : シール材の肉盛り、成形作業は2～3分以内で行なって下さい。シール材は約 10～15分 (21℃の場合) で初期硬化し、2時間で完全硬化します。

注2. : シール材が初期硬化すれば補修作業は終了です。

注3. : 補修作業をやり易くするために鉛管を所定位置から動かした場合は、シール材が硬化し始める前に元の位置に戻して下さい。硬化中又は硬化後補修した部分 (シール材を肉盛りした部分) を動かすとシール材が剥離しシール効果が無くなる恐れがあります。

上記商品についてのお問合せは下記宛お願い致します。

販売元

原田産業株式会社

情報・通信チーム

Tel : 03-3213-8391 / Fax : 03-3213-8399

東京都千代田区丸の内 1-2-1 東京海上ビル新館 5F